



Financial Information System

リリースノート

FisCom 社会福祉法人会計システム V6

《 Version 6.1.160 – 6.1.176 》

ノート更新日：2021/04/01(木)

平素より FIS 製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

このたび社福システムのアップデートをおこないました。2020 年 12 月のアップデート (Ver 6.1.160) から現在の最新のバージョン (Ver 6.1.176) までの更新内容をご案内します。

今後もアップデートをおこない、皆様により良いシステムをご利用いただけるよう努めてまいります。

ご不明な点があれば、操作マニュアルをご確認いただくか、弊社サポートデスクまでお問合せください。

※操作マニュアルはシステムのホーム画面にある「マニュアルページへ移動」から閲覧・ダウンロードできます。

株式会社 会計情報システム システムサポート部

TEL : (011) 376-1987

E-Mail : support@fiscom.co.jp

更新内容一覧

1. [仕訳検索] 検索条件クリア機能の改修.....	2
2. [拠点設定] 決裁欄文字数制限の改善.....	2
3. [日計表印刷] タイムスタンプ印字設定の追加	3
4. [月次帳票印刷] 画面レイアウトを変更.....	3
5. [総勘定元帳印刷] PDF 保存機能の改修	4
6. [総勘定元帳印刷] 複数ページ出力時の日付表示を改善	4
7. [繰越残高再設定] 予算額再繰越の機能改善	4
8. [附属明細書] 会計基準に準拠した様式の対応	5
9. [貸借対照表] W A M N E T の表記に対応	5
10. [計算書類に対する注記入力] 入力方法変更	6

11. [整合性確認] 検証期間・検証内容の変更.....	6
12. [支払先設定] 一覧印刷機能を追加	6
13. 【繰越】年度繰越に関する機能の見直し.....	7
① [年度繰越] バックアップ作成機能を追加.....	7
② [年度繰越の取消] ユーザーによる取消操作を制限	7

*ご案内する更新内容のほか、バグや不具合等の軽微な修正も行っています。

更新内容詳細

1. [仕訳検索] 検索条件クリア機能の改修

◆2021/02/08 リリース (バージョン : 6.1.165)

【日次】 - [仕訳検索] メニューで、検索条件で伝票日付を選択し「□決算整理仕訳」にチェックして検索を行った後「F 3 検索条件クリア」を行っても、検索条件として「□決算整理仕訳」のチェックが残ってしまう不具合を改修しました。

2. [拠点設定] 決裁欄文字数制限の改善

◆2021/02/08 リリース (バージョン : 6.1.165)

【設定】 - [拠点設定] メニューで、「決裁欄 1～5」に入力する承認者名の文字数制限を 5 文字から 6 文字に変更しました。

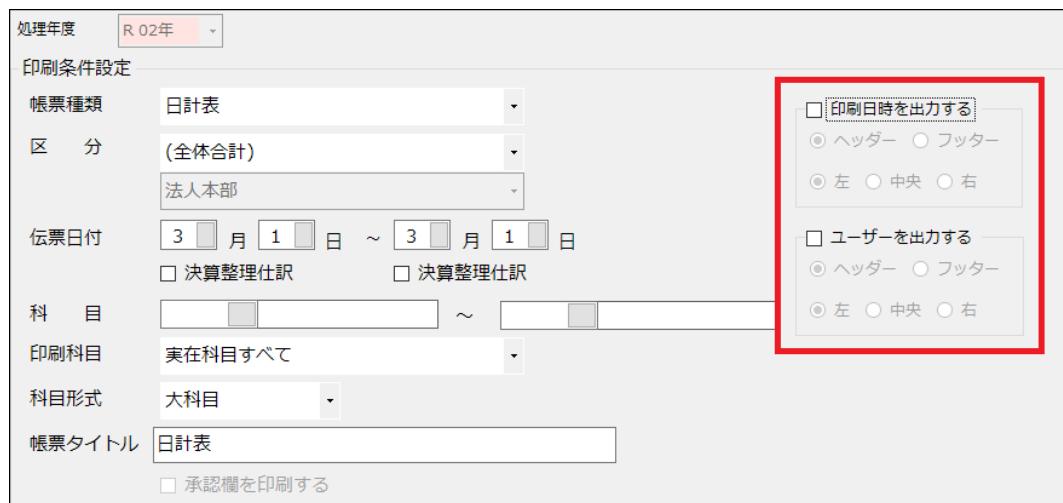
固長	副固長	主任保育教諭	事務長	

※決裁欄（承認欄）は【日次】 - [日計表印刷] / [振替伝票印刷]、【月次】 - [月次帳票印刷]、【元帳】 - [現金出納帳印刷] メニューで印字できます。

3. [日計表印刷] タイムスタンプ印字設定の追加

◆2021/02/24 リリース (バージョン : 6.1.167)

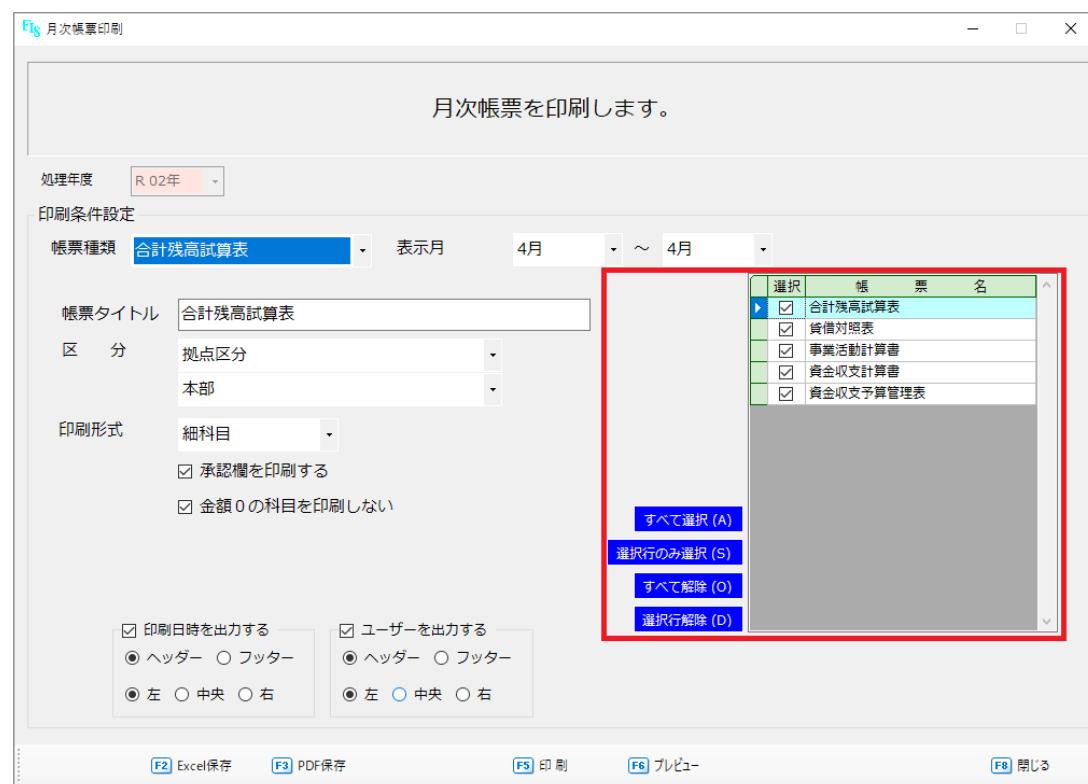
【日次】 – [日計表印刷] メニューで、出力する帳票にタイムスタンプを印字できるよう改修しました。



4. [月次帳票印刷] 画面レイアウトを変更

◆2021/03/07 リリース (バージョン : 6.1.169)

【月次】 – [月次帳票印刷] メニューで、印刷条件を設定後に印刷または Excel/PDF 保存処理をする際、別画面でどの帳票を出力するか選ぶ仕様でしたが、今回の更新で、印刷条件設定画面上で出力帳票も選択できるように改善しました。



5. [総勘定元帳印刷] PDF 保存機能の改修

◆2021/02/24 リリース (バージョン : 6.1.167)

【元帳】 - 【総勘定元帳印刷】メニューで、PDF 保存するとエラーが出ていた現象を改修しました。

プレビュー画面上部にある「PDF に保存」ボタンをクリックすると、任意の場所に保存できます。



6. [総勘定元帳印刷] 複数ページ出力時の日付表示を改善

◆2021/03/07 リリース (バージョン : 6.1.169)

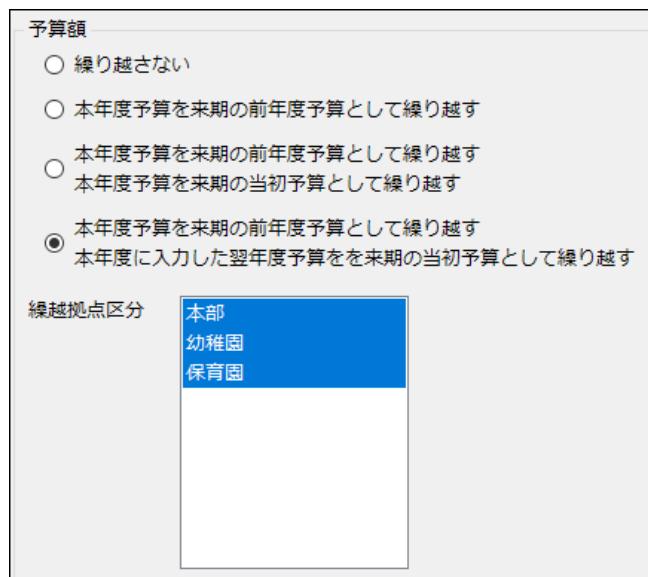
当初、元帳の「日付」欄は各伝票の先頭行のみ表示する仕様であり、同日の伝票が複数ページにまたがる場合、最初のページのみ日付が表示され、次ページの先頭行は「日付」欄が空欄となっていた点を見直しました。現在は次ページ先頭行も日付を表示します。

7. [繰越残高再設定] 予算額再繰越の機能改善

◆2021/02/24 リリース (バージョン : 6.1.167)

これまで【繰越】 - 【繰越残高再設定】メニューでは、予算額の繰越について全拠点まとめてしか再繰越できませんでしたが、任意で再繰越する拠点を選択できるよう改修しました。

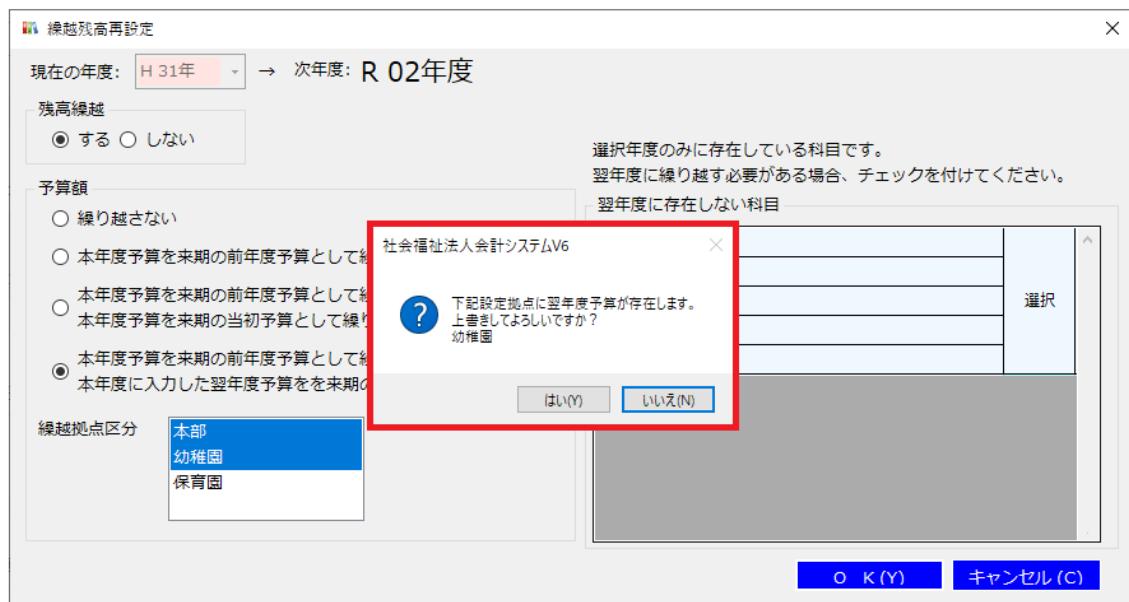
これにより、拠点ごとに予算入力方法が異なる場合も対応できるようになっています。



※細かい操作方法などは操作マニュアルをご参照ください。

また、誤って再繰越（上書き）することを防ぐため、翌年度に既に予算データが存在している場合、次の確認メッセージを表示します。

▼ 「下記設定拠点に翌年度予算が存在します。上書きしてよろしいですか？」



8. [附属明細書] 会計基準に準拠した様式の対応

◆2021/02/24 リリース (バージョン : 6.1.167)

次の附属明細書について、社会福祉法人会計基準に準拠した様式に改修しました。

◎別紙3 (⑤) 事業区分間及び拠点区分間貸付金(借入金)残高明細書

次の文言を修正しました。

- ・ 1) 事業区分間繰入金明細書 → 1) 事業区分間貸付金(借入金)明細書
- ・ 2) 拠点区分間繰入金明細書 → 2) 拠点区分間貸付金(借入金)明細書

9. [貸借対照表] WAMNETの表記に対応

◆2021/02/24 リリース (バージョン : 6.1.167)

【決算】 - 【貸借対照表】について、これまで純資産の部「うち当期活動増減差額」は当年度末のみ表示していましたが、WAMNETの表記に合わせて前年度末の「うち当期活動増減差額」も表示する仕様に変更しました。

この変更に合わせて、【月次】 - 【貸借対照表】も、前月末残高欄の「うち当期活動増減差額」では、前年度の金額を表示するよう改修しました。

10. [計算書類に対する注記入力] 入力方法変更

◆2021/03/11 リリース (バージョン : 6.1.172)

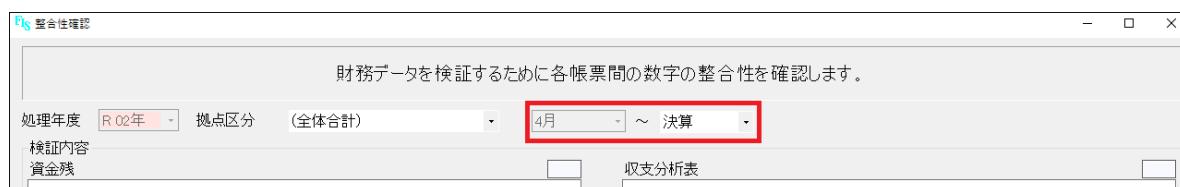
【決算】 - [計算書類に対する注記入力] の「8. 担保に供する資産」について、これまでのテキスト形式から表形式で入力できるよう改修しました。

11. [整合性確認] 検証期間・検証内容の変更

◆2021/03/09 リリース (バージョン : 6.1.170)

◆2021/03/21 リリース (バージョン : 6.1.175)

【決算】 - [整合性確認] について、これまで 1 年度間すべてのデータに対してしか検証できなかつた点を見直し、月指定で任意の期間から整合性を確認できるよう改修しました。



この改修に伴い、検証内容も見直しています。

改修前	改修後
・資金残	・資金残
・収支分析表	・収支分析表
・増減差額	・増減差額
・本部への繰り入れ制限	・本部への繰り入れ制限 → 廃止
・前期末支払資金	・前期末支払資金
・貸借不整合伝票	・貸借不整合伝票 → 廃止
・資金収支対応	・資金収支対応 ・前年度決算額との比較 事業活動計算書 → 新設 ・前年度決算額との比較 資金収支計算書 → 新設

12. [支払先設定] 一覧印刷機能を追加

◆2021/03/07 リリース (バージョン : 6.1.169)

【設定】 - [支払先設定] について、支払先を一覧で印刷する機能を追加しました。

画面下部の < F 5 印刷 > または < F 6 プレビュー > で印刷または Excel/PDF に保存できます。
支払先機能を使用する法人様は、入力コードの確認などにご利用ください。

13. 【繰越】年度繰越に関する機能の見直し

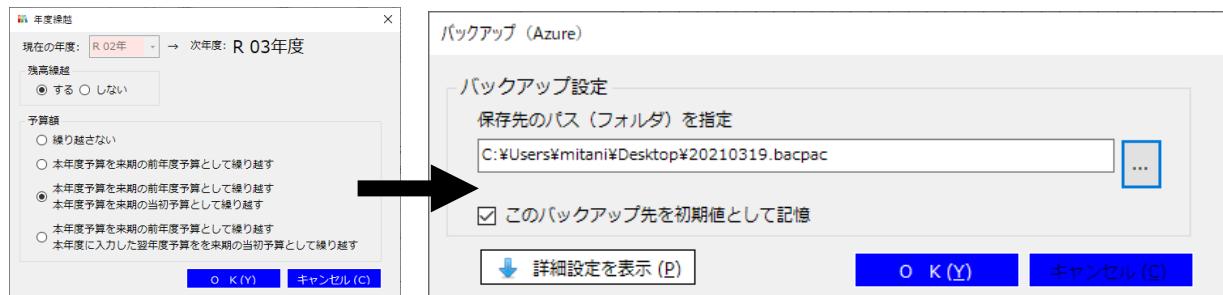
◆2021/03/17 リリース (バージョン : 6.1.174)

システムの年度繰越処理について、次の機能を見直し、改修を行いました。

① 【年度繰越】バックアップ作成機能を追加

【繰越】 - [1. 年度繰越] メニューで新年度の領域を作成する際、必ずバックアップファイルを作成する仕様に改修しました。この機能により、ユーザー側で年に一度は必ずバックアップファイルが作成されることになります。

年度繰越の条件を選択して<OK>をクリックすると、バックアップファイルの保存先を指定する画面が開きます。

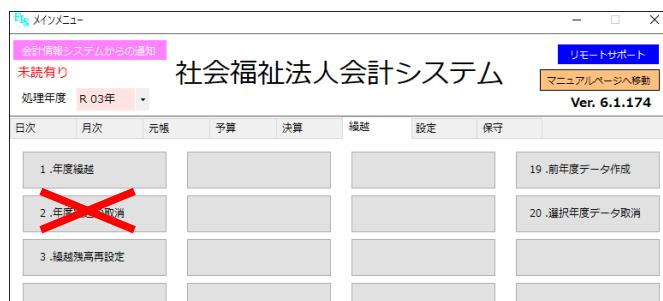


② 【年度繰越の取消】ユーザーによる取消操作を制限

これまで【繰越】 - [2. 年度繰越の取消] メニューで、いつでも年度繰越の取消操作を行えるようにしてきましたが、取消操作は全拠点に影響するため、事前確認せずに一部拠点で年度繰越の取消を行ってしまうと、他拠点で入力したデータも失われてしまうリスクがありました。

この点を社内で協議し、ユーザーから取消操作を行えないよう制限することに決定しました。

現在、【繰越】メニュー内から [2. 年度繰越の取消] は非表示としています。



* 年度繰越の取消作業は弊社で承ります *

今後、年度繰越処理の取消を行いたい場合は弊社サポートデスクまでお問合せください。

全拠点まとめて年度繰越の取消（削除）作業を行います。

なお、新年度で仕訳データが存在する場合は取消処理を行うことができません。

仕訳がある場合は各拠点で削除等の対応をお願いすることになりますので、予めご了承ください。